

「膝関節温存治療」の普及と発展に向けた取り組みについて

AUSPICIOUS株式会社

開発部 マネージャー 山田 真也

2024年 9月 26日（木）

アスピシャス

「**AUSPICIOUS**」は、**幸先がよい・縁起がよい**という意味です。

事業やサービスを通じ、全ての人々が幸福で、自分らしく、健やかな生活をおくることに貢献したいという想いを込めています。



「Meet up Chubu」vol.48

医療・ライフサイエンス with 中小機構

会社概要

会社名 AUSPICIOUS株式会社

代表取締役 浦田 光也

設立 2021年 9月 1日 資本金:1億円(資本準備金を含め12.5億円)※
※2024年4月1日現在

業態 高度管理医療機器 販売業・貸与業(許可日:2022年 1月 6日)
第一種医療機器製造販売業 (許可日:2022年 7月26日)

所在地 (本社) 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館5階
(物流センター) 江東区辰巳3-6-3 東京メディカルロジスティクスセンターⅡ
(名古屋分室) 名古屋市中種区千種2-22-8 名古屋医工連携インキュベータ406



本社



名古屋分室

ビジョン・使命 ◆**膝関節を中心とした関節温存治療**の発展と普及を通じ、患者さんおよびご家族のQOL向上を図る
◆**健康寿命の延伸**による人々の生活の豊かさへの貢献を通じ、**医療・介護などの社会保障費の抑制**や、**就労期間延伸・経済活性による国家財政への貢献**を図り、イキイキとした社会を実現する

2023年 6月 持田製薬(株)との業務提携基本契約締結

8月 自社製品「**ASPICプレートシステム**」薬事承認取得

2024年 2月 **Knee Smile Project**発足(疾患啓発プロジェクト)



ひざの健康推進プロジェクト

共 催

協 賛

AUSPICIOUS

SIGMAX

TEIJIN

MIZUHO
みずほ銀行

販売名 : ASP 下肢骨端プレート
一般的名称 : 体内固定用プレート
医療機器承認番号 : 30500BZX00182000

事業内容 ～変形性膝関節症とその治療法について～

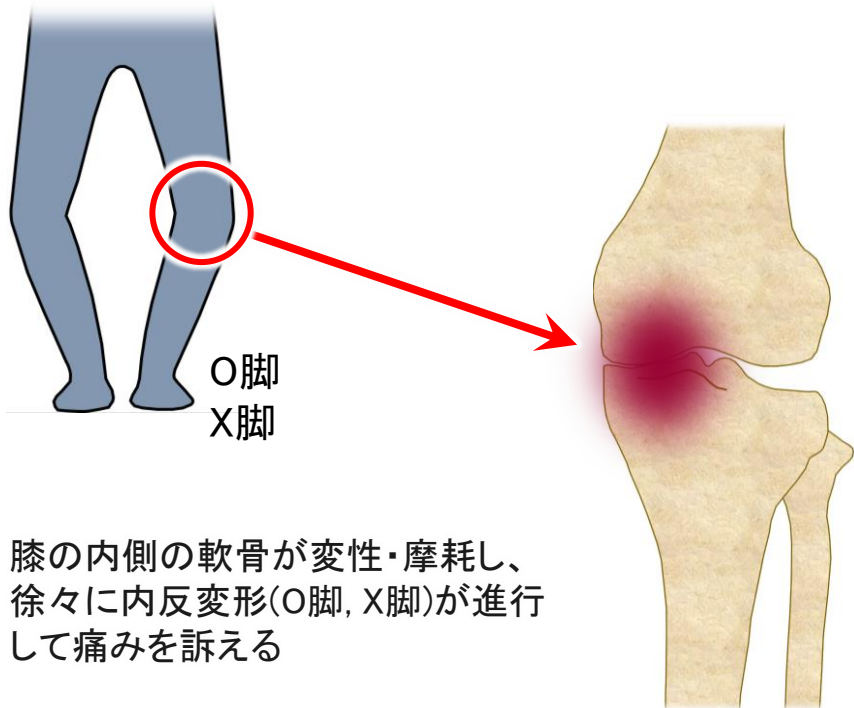
変形性膝関節症

推計有病者数: 2,530万人

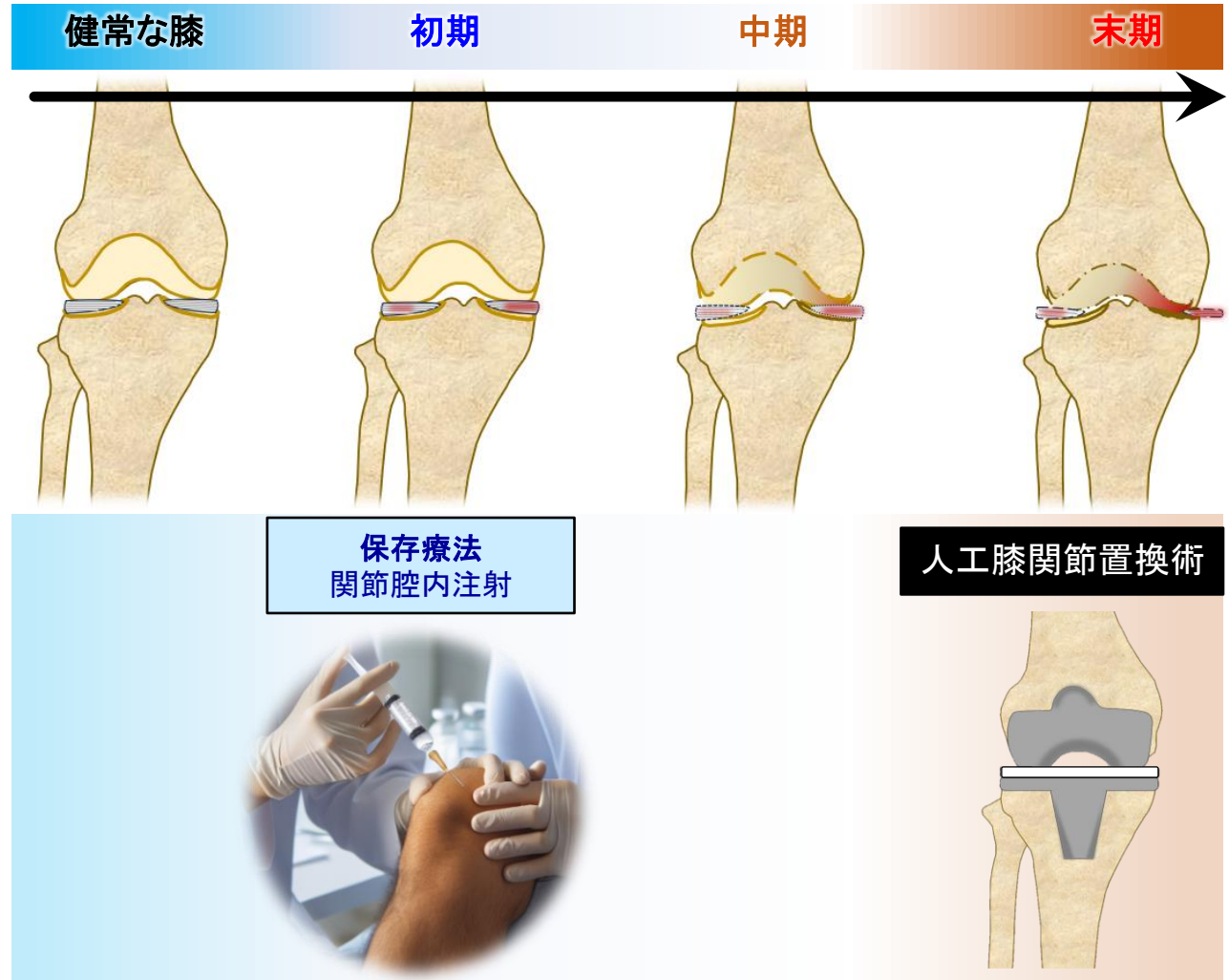
症候性患者数: 800万人

日整会誌 2019; 93:508-518

40歳以上では2人に1人
(男性42%、女性62%)



膝の内側の軟骨が変性・摩耗し、
徐々に内反変形(O脚, X脚)が進行
して痛みを訴える



事業内容 ～変形性膝関節症とその治療法について～

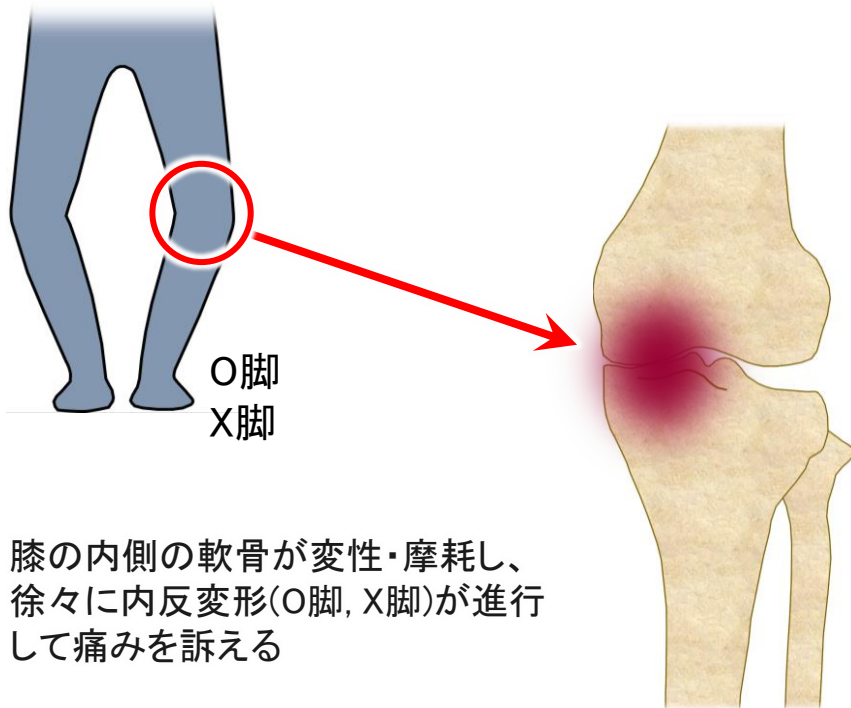
変形性膝関節症

推計有病者数: 2,530万人

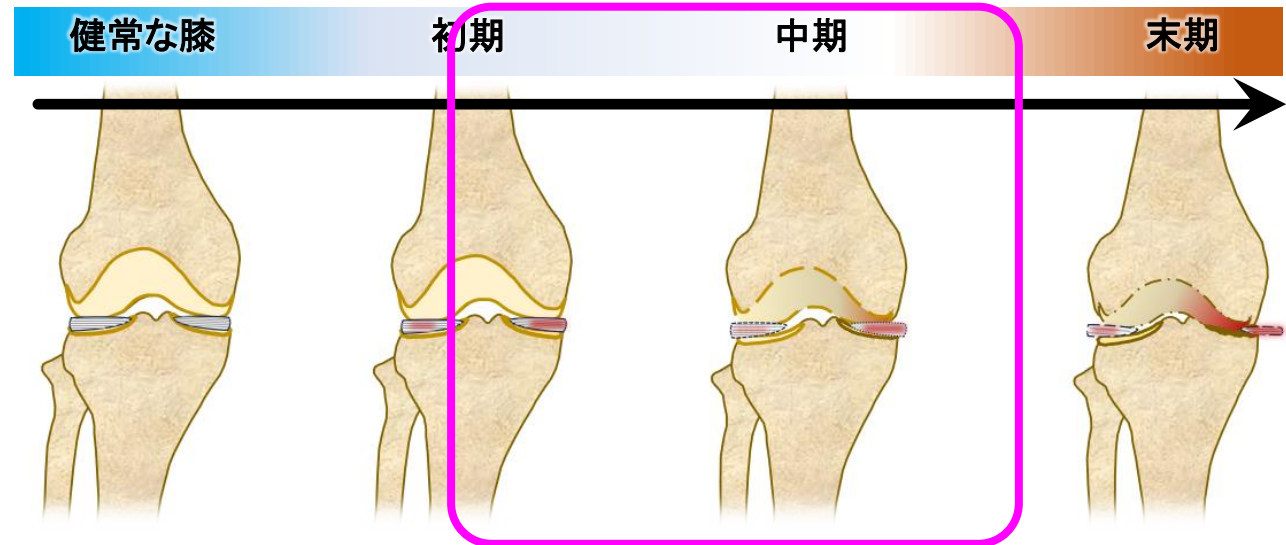
症候性患者数: 800万人

日整会誌 2019; 93:508-518

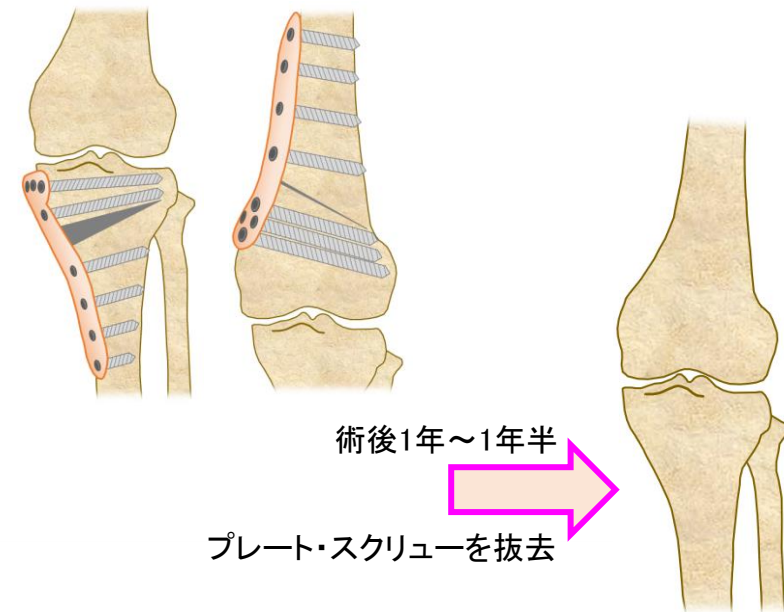
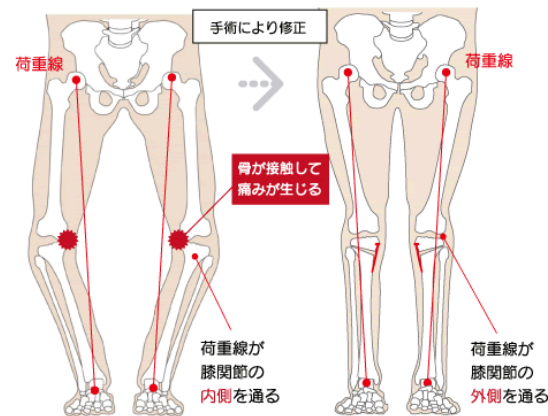
40歳以上では2人に1人
(男性42%、女性62%)



膝の内側の軟骨が変性・摩耗し、
徐々に内反変形(O脚, X脚)が進行
して痛みを訴える



膝関節温存治療



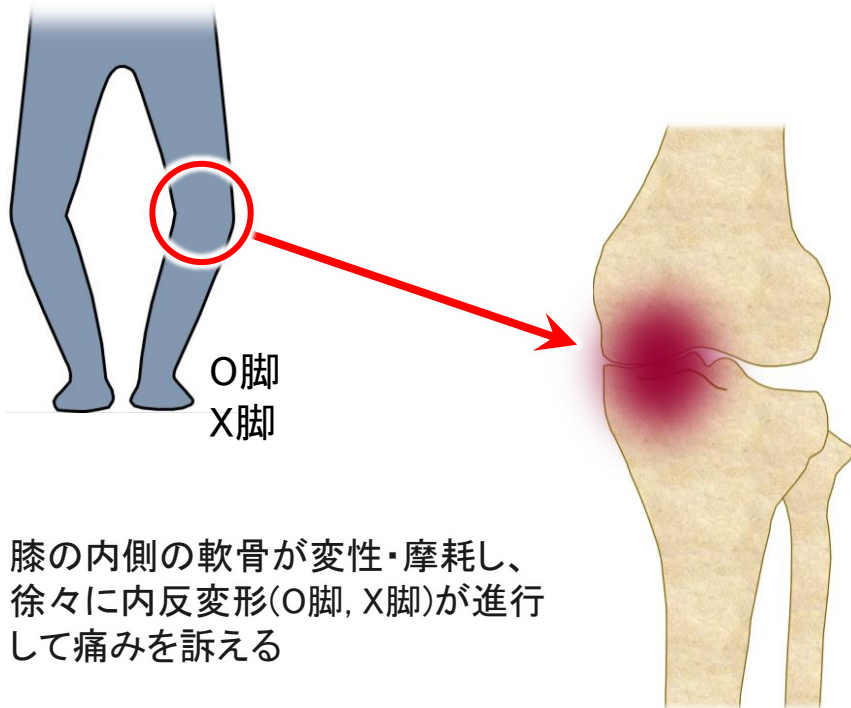
事業内容 ～変形性膝関節症とその治療法について～

変形性膝関節症

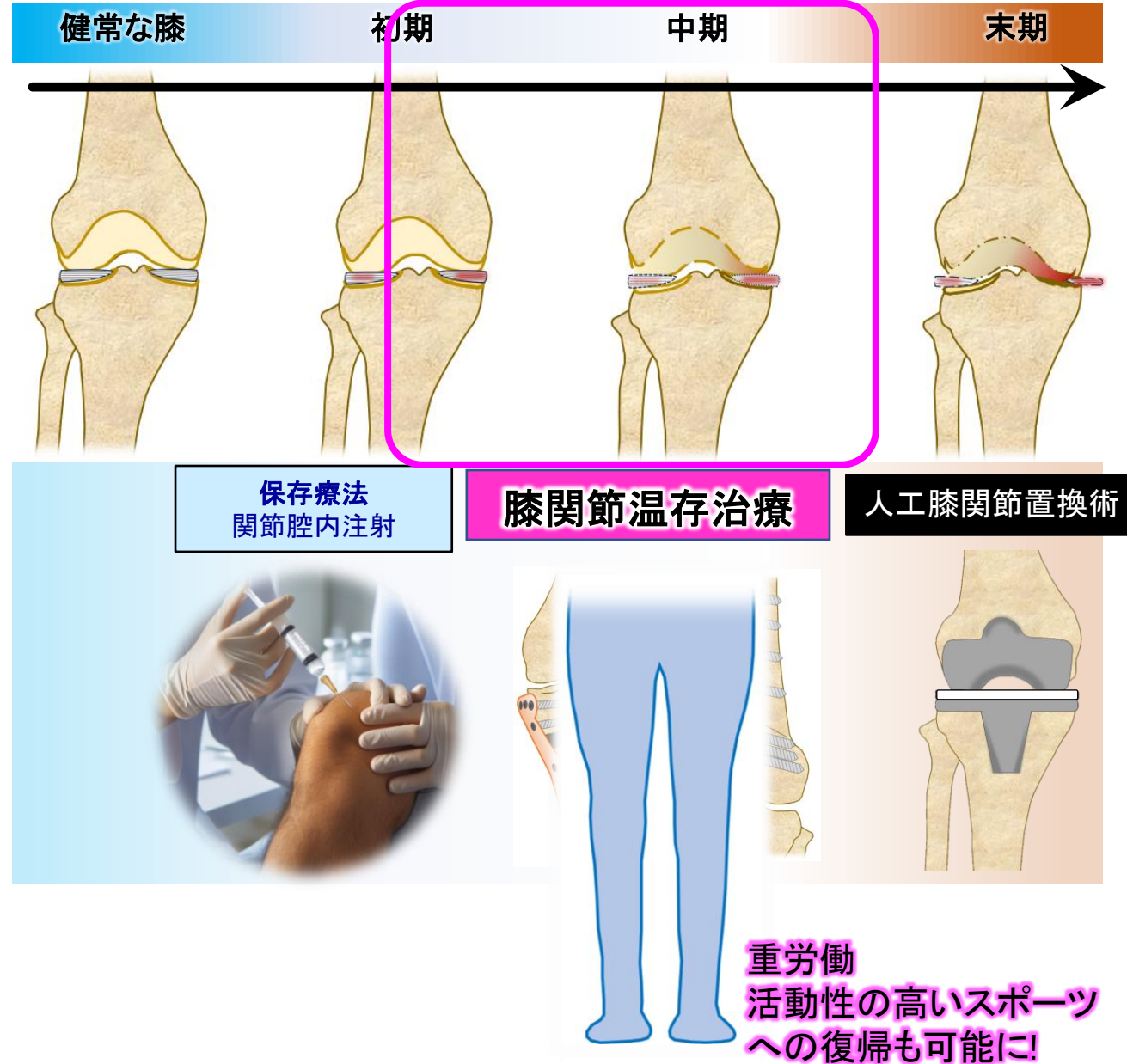
推計有病者数: 2,530万人
症候性患者数: 800万人

日整会誌 2019; 93:508-518

40歳以上では2人に1人
(男性42%、女性62%)



膝の内側の軟骨が変性・摩耗し、
徐々に内反変形(O脚, X脚)が進行
して痛みを訴える



実現したい未来社会

◆ 国民のQOL (生活の質) 向上

- 健康寿命を延ばす
- 趣味の継続
- 孫・ひ孫と旅行に行きたい

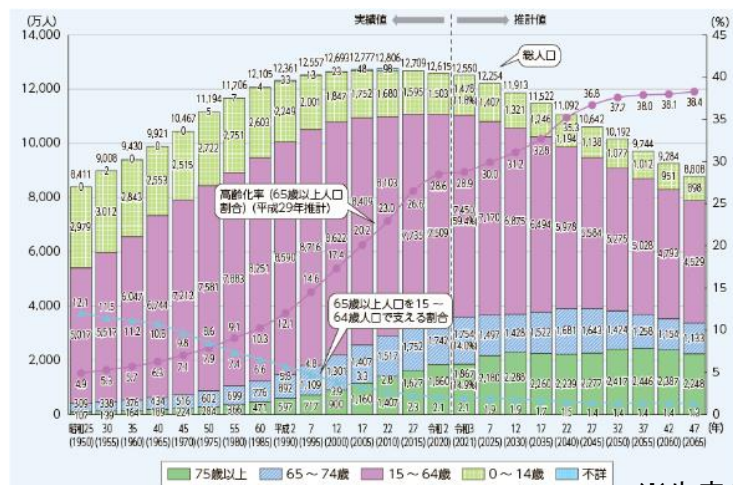


◆ 社会保障費抑制

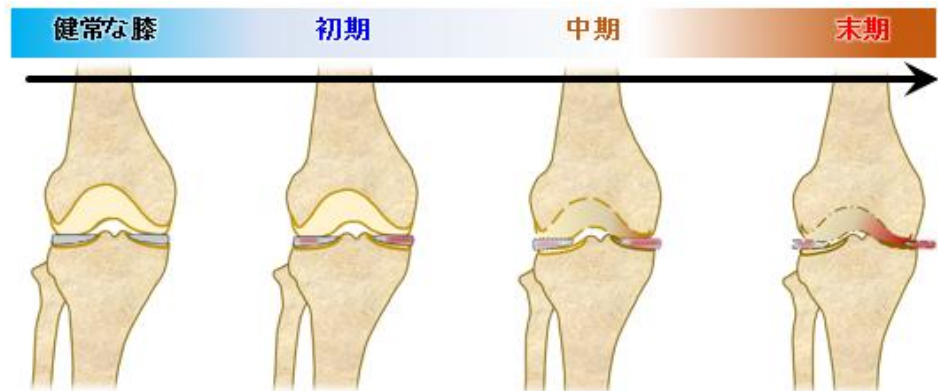
- 保存療法で一時的な除痛 → 症状進行 → 人工関節置換術の連鎖をストップ
- 寝たきり、要介護状態による高齢者医療費の低減

◆ 就労年齢の延伸

- 職場復帰 (就労継続)
- 労働力の確保
- 介護に要する時間の節減



※生産年齢人口の減少
総務省ホームページより

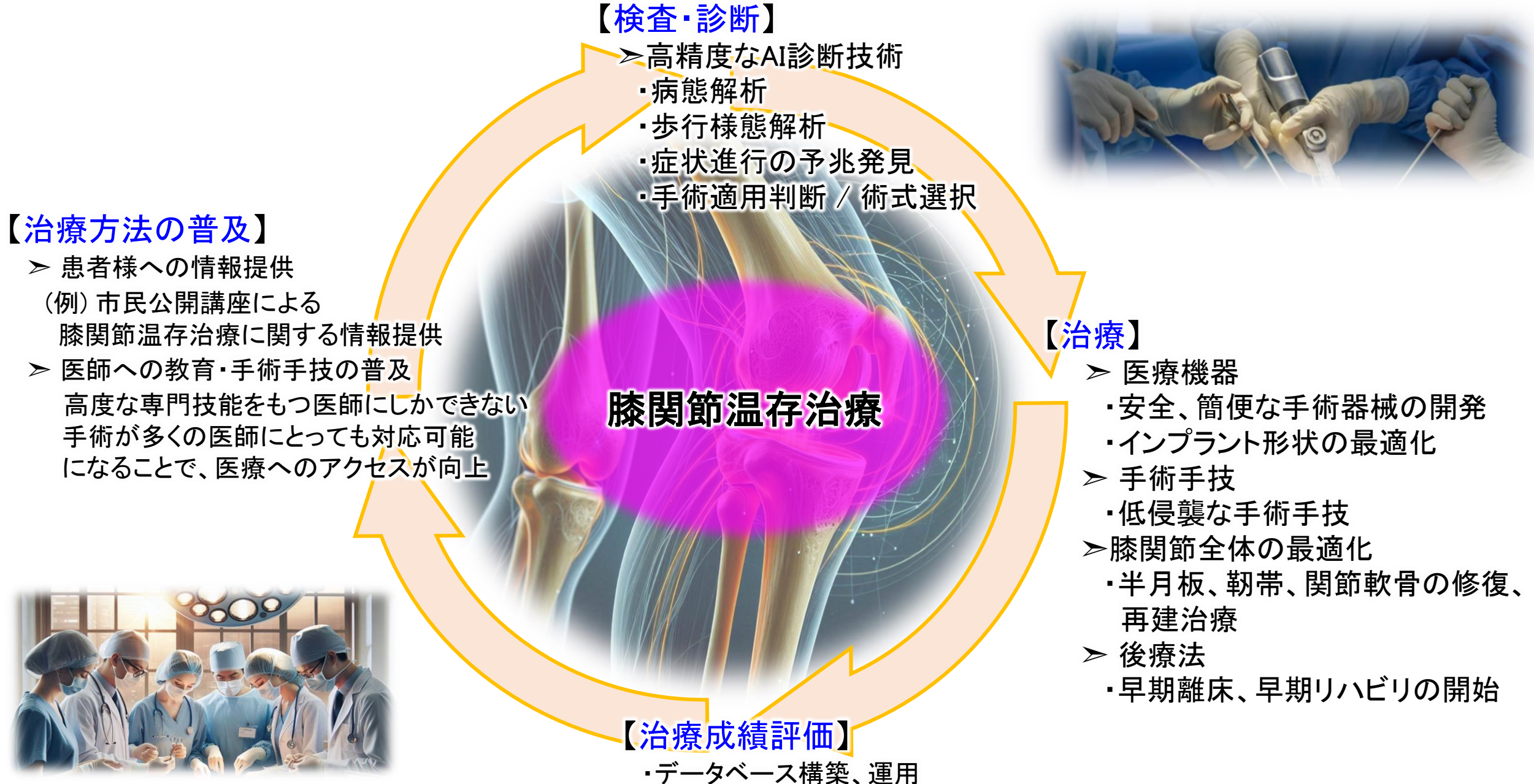


関節腔内注射 → 人工関節置換術

年間 40,389,833件※
手技料: 323億円

年間 100,904件※
手技料: 380億円

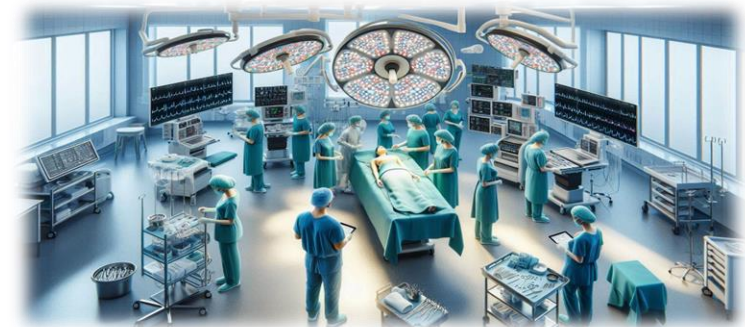
※R4年4月～R5年3月
第9回NDBオープンデータより



All Japanによる世界最先端医療の提供と、その持続的進化



- ・ 大学系列を超えた組織横断的な活動（All Japanでの取組み）
- ・ 治療法（手術手技）の開発と、それを具現化する医療機器開発
- ・ 医師への手技啓発と教育機会の提供
- ・ 臨床での課題抽出と次の開発へのフィードバック



All Japanによる世界最先端医療の提供と、その持続的進化

グローバル展開

教育を含めたシステム構築による 治療法の普及

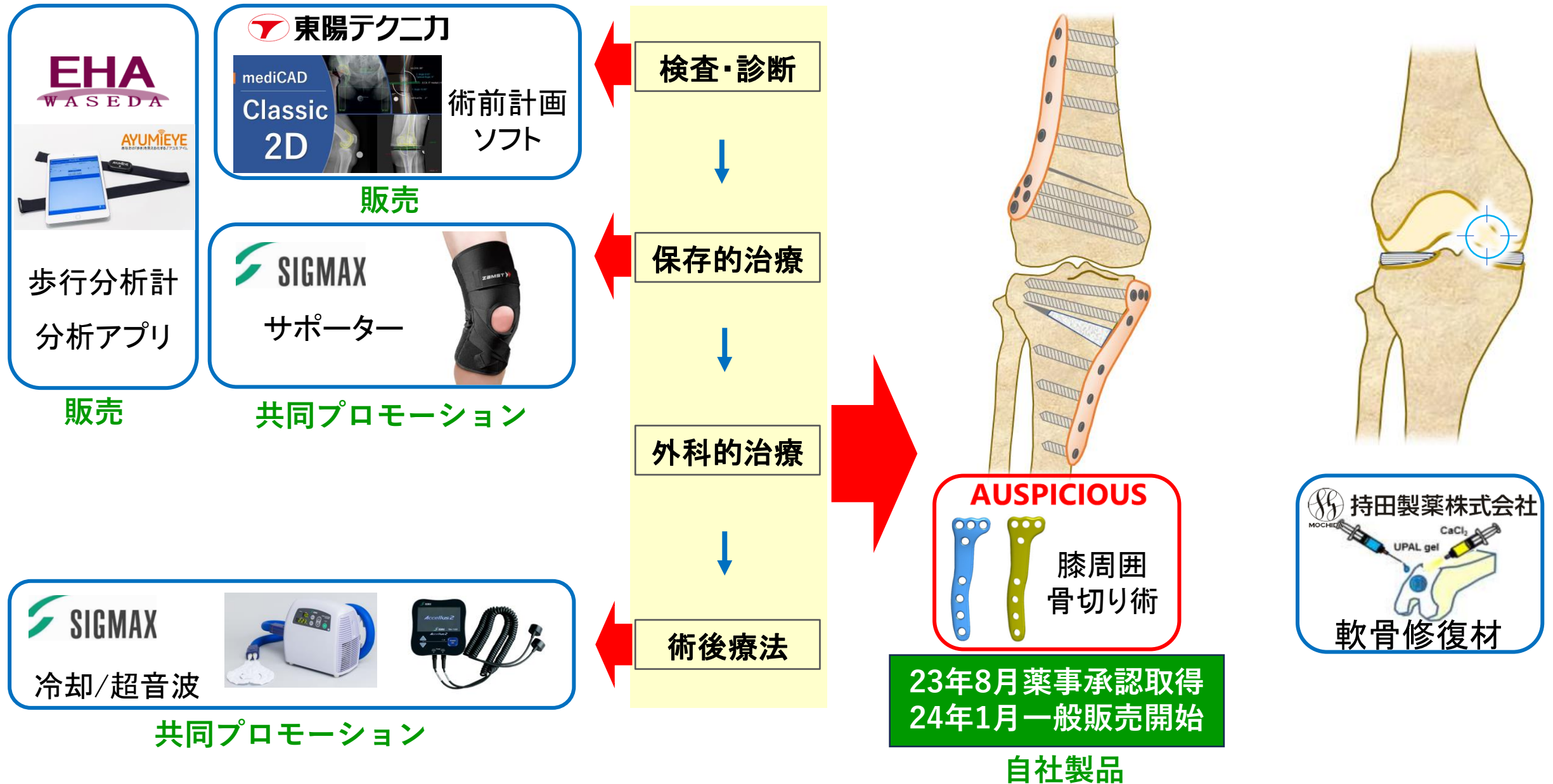
各国の国民性にあった治療法の開発と、
それを具現化する医療機器開発

All Japanによる 世界最先端医療の 持続的進化



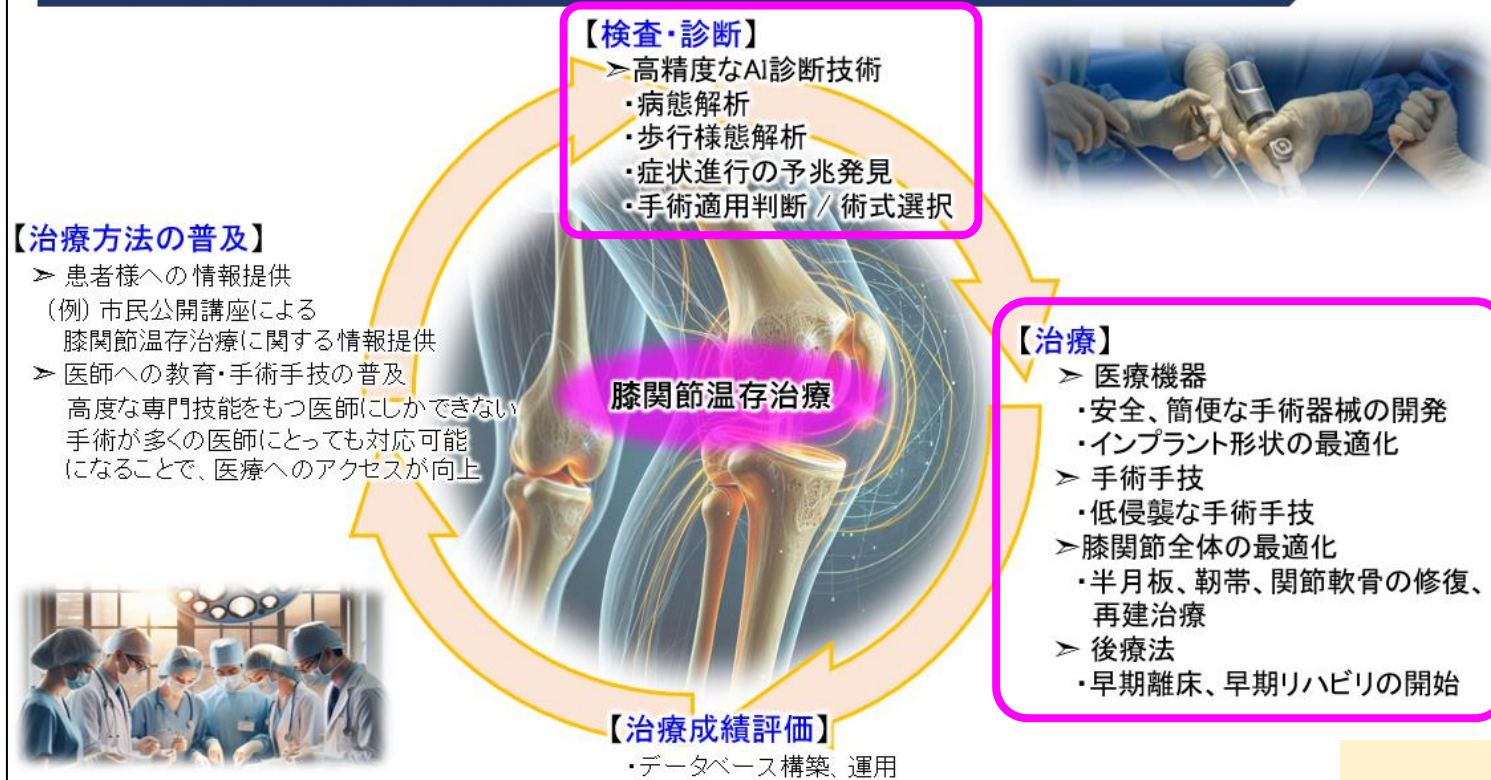
健康寿命の延伸による
イキイキとした社会の実現

膝関節温存のトータルソリューション（全体最適化）を提供するための協業体制



希望する連携のあり方

誰もが受けられる“標準医療”として発展するために必要な要素



●AI技術を搭載した医療機器の共同開発・事業化

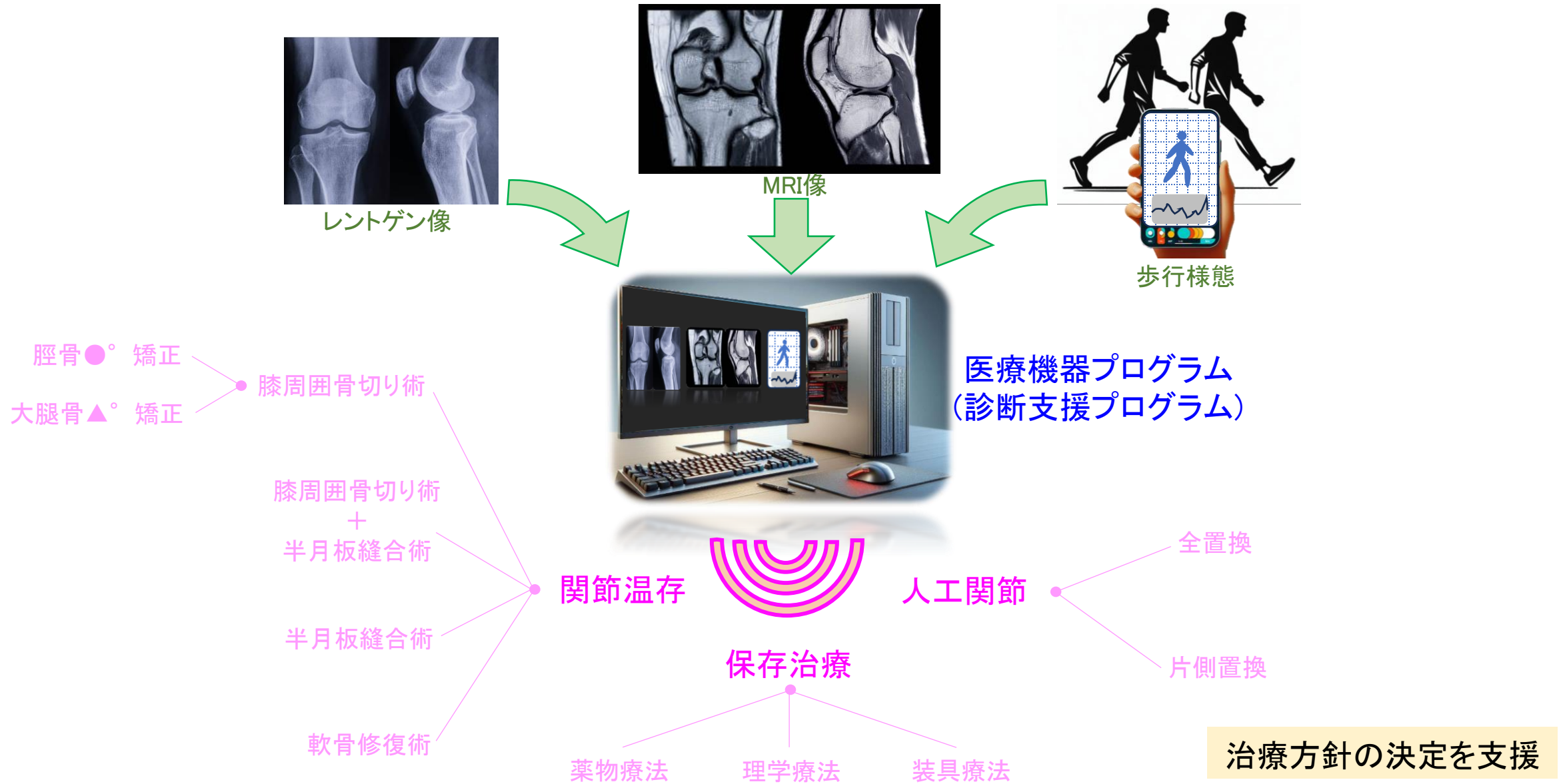
⇒次頁

●弊社が設計・開発する医療機器の製造委託

●既存の医療機器の販売提携

希望する連携のあり方

●AI技術を搭載した医療機器の共同開発・事業化 ex.) 診断支援プログラム



協業のご提案をお待ちしております
